

たくさんお話をきいてみよう！

五斗長垣内遺跡と 出土品

●POINT①

弥生時代後期の山間地の集落

五斗長垣内遺跡は、の後期に増えた山間地の集落のひとつで、標高200mの丘の上から、遠くの海を見下ろすことができる場所にあります。

●POINT②

100年！鉄器づくりをしていたムラの跡

遺跡のはじめは石器づくり、その後、ものあいだ、鉄器づくりをしていたことが、竪穴建物のなかにある炉のあとや、鉄器・石器の工具などの出土からわかります。

●POINT③

竪穴建物はぜんぶで棟！鉄器の工房は棟！

鍛冶の作業のあとが発見された竪穴建物のあとは12棟。一番大きな建物は、直径がmもあります。

竪穴建物
に入って
みよう！

当時の人たちは
どうして鉄器を
つくっていた
んだろう？

1

出土品は、何のために作られたもの？



鉄器（てつき）



勾玉（まがたま）

メモ

2

質問コーナー

- ①五斗長垣内遺跡には何棟の建物がありますか？
- ②一番大きな建物は何mありますか？
- ③遺跡が発見されたのは何年前の台風におそわれたとき？
- ④炉の温度は最大で何度になりますか？

3

見学の感想（感じたこと、疑問に思ったことなど）を書こう。※ここがとても大切

日本遺産 社会見学のしおり

見学先：五斗長垣内遺跡

【見学の日程】

_____：_____学校出発
— 五斗長垣内遺跡（_____：_____～_____：_____）
— _____（_____：_____～_____：_____）
— _____：_____学校到着

【持ち物】

見学のしおり、筆記用具、雨具、弁当、おやつ（ _____円以内）、水筒、敷物、名札、上ばき

【自分のめあて】

【班のめあて】

_____小学校

_____年 _____組 氏名